

令和7年度 尾長地区まちづくり活性化支援委員会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・活動拠点（事務所）を整備したことで、地域住民が気軽に立ち寄りやすくなり、情報共有が円滑にできるようになった。
・チラシ、ホームページの作成により、おながLMOの認知度を高めることができたとともに、地域内行事の広報を行う体制を整えることができた。
・事務局員を雇用することで、LMOの事務、会計処理、広報を行ってもらい、事務の負担軽減を図ることができた。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	新規組織の啓蒙活動	(3)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年11月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	事務局内及び尾長地区内	
(3) 参加者数	33 人	
(4) 主催団体	団体名 尾長地区まちづくり活性化支援委員会	
4 取組内容	・情報発信の基地局としての事務所を尾長学区集会所内に立ち上げ、ホームページの新規開設を行った。ホームページでは、おながLMOの情報に加え、地域内や地域団体が実施する行事を掲載できるような構成にした。 ・委員会発足のポスターを作成し、社協・連町に周知を図った。また、地区内に掲示などをお願いし、その中でスタッフの募集も行っている。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	・活動拠点となる事務所の環境整備を図り、尾長地区の中で、地域を盛り上げるための活動を推進している組織がある事をまずは広く認識してもらい、その中で一人でも多くの賛同者を得て、尾長地区が目指す「つながろう！育てよう！みんなで創る わがまち尾長」を実践していく。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	・事務所の環境整備を図ったことにより、地域の方も事務所に立ち寄られる事が多くなり、地域の情報が集まりやすくなった。また、ポスターを作成し、周知を図った事により、まだ始まったばかりではあるが、新たな人材発掘に繋がる事として期待している。 ・ホームページでおながLMOの情報や地域内の行事を掲載することにより、地域内外へ情報を発信できる体制を整備することができた。	

1 事業名	尾長学区とんどまつり	(3)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年1月11日	
(2) 実施場所	広島市立尾長小学校の校庭	
(3) 参加者数	約 1000 人	
(4) 主催団体	団体名 尾長地区まちづくり活性化支援委員会、尾長学区とんどまつり実行委員会	
4 取組内容	・地域の伝統行事である「とんどまつり」を尾長学区とんどまつり実行委員会と連携して地域を盛り上げた。 ・各種団体と連携し、もちつきを実施し、「焼きもち」や「豚汁」「コーヒー」などのふるまいを実施した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	・地域の過疎化が進む中で、地域の人々が関われる場所の創出と伝統的な行事を継承することを目的とする。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	・老若男女、多くの人々が、風雪が舞う悪天候の中でも集まって下さり、地域の伝統的な行事である「とんどまつり」を無事に行う事が出来た。この行事が、地域住民のコミュニケーションの場となり、また、地域に対する愛情を育む場に繋がったことと思う。	

1 事業名	あいさつ推進事業	(3)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 7 年 12 月 5 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	尾長地区内（あいさつ通り）	
(3) 参加者数	約 3000 人（尾長地区内の幼稚園、小中学校、高校が参加）	
(4) 主催団体	団体名 尾長地区まちづくり活性化支援委員会、あいさつ通り実行委員会	
4 取組内容	・尾長地区に位置する、幼稚園、小中学校、高校に「あいさつ標語」を募集し、20 作品を選出した。また、選出した標語を書き込んだ幟旗を作成し、2 月 20 日に尾長地区内の「あいさつ通り」に掲げた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	・人と人の繋がりを作る基本は挨拶である。また、挨拶を交わすことから思いやりやさしさが生まれ、地域の人々の繋がりを一層強める事になる。そこで、地域の一部を「あいさつ通り」と設定し、幟旗を掲出するなどの挨拶運動を展開し、挨拶を喚起することを目的とした。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	・今年も新たなあいさつ標語が「あいさつ通り」に掲げられ、道行く人が幟旗を見て、微笑んで下さる。地域の中に、あいさつ標語がある事で、地域の方々の挨拶をする意識の醸成に繋がり、挨拶を通じて人と人の絆が強くなっている。	

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容
	なし		